

政務活動に係る活動報告書

会 派 名	蔵王
活 動 項 目	○先進地視察・研修会開催・研修会参加・その他（ ）
年 月 日	令和6年11月11日
参 加 者 名	谷江正照 尾形みち子 長澤長右衛門
視 察（ 研 修 ） 地	福岡県豊前市
目 的	老朽化危険家屋解体費の補助・固定資産税減税制度 について
調査（研修）項目等	
概 要	豊前市では、老朽危険家屋解体費の補助・固定資産税減免制度を実施しており、老朽危険家屋対策の一環として、老朽危険家屋の解体費用の一部補助や老朽危険家屋解体後の土地の固定資産税の減免などを行っています。 補助金・固定資産税減免を受ける場合には、解体前に生活環境課に建物調査の申請が必要です。調査の結果、一定の基準を超えると対象となります。 対象の建物は、住宅街など周辺環境を悪化させている老朽危険家屋等であります。また、住宅用の家屋を解体することにより軽減措置がなくなり、一般的には土地の税金が上がることとなります。減税額は、最初の5年間は住宅用特例が適用された場合の税額との差額とし、6年目以降は減免額が徐々に少なくなる制度であります。 土地に対する固定資産税の軽減措置として、地方税法により、住宅が建っている土地に対して、課税標準額を住宅1戸あたり200平方メートルまでについては6分の1に、200平方メートルを超えた部分については3分の1とする住宅用地の特例

	がありますが、住宅を取り壊して更地等にした場合、特例が適用されなくなり税負担が上昇する場合があります。 豊前市では、平成 27 年度より、長期にわたり放置された老朽化した住宅に対し、老朽危険家屋と認定された場合、住宅取り壊しによる土地の税負担の上昇を減免申請により最長 10 年間軽減することができます。 減免の対象となる土地は、住宅の用に供されている土地で、老朽危険家屋の認定に係る申請を行い、認定を受けた当該老朽危険家屋の所在する土地及び一体敷地となります。 平成 25 年度から令和 5 年度までの解体費補助については、調査件数 328 件で補助金対象件数は 172 件です。また、補助金申請者 124 件で補助金総額 34,255,000 円でしたが、社会基本整備総合交付金（国庫負担額）は、15,922,000 円でした。 なお、固定資産税減免については、平成 27 年度から平成 4 年度の減免対象件数は 224 件で減免申請者 95 件 減免総額は、1,578,900 円でした。因みに豊前市の人口は、24,000 人です。
所 感	この事業は今年度で 15 年になり、空き家の実態踏査を行う予定で今年の 9 月にプロポーザルを実施し、間もなく委託業者と契約を行う予定で、豊前市にも空き家バンクがあり、程度の良い家屋については、空き家バンクへの登録を進める考えであるそうです。 固定資産税減税は、国の制度で考えることでありますが、豊前市は 15 年前にこの事業を始めたことについては、新しい発想を実施したことに対し感銘を受けました。我々議員としても、未来に向け発想転換を積極的に考えて行くべきと改めて感じた次第です。

政務活動に係る活動報告書

会 派 名	蔵王
活 動 項 目	○先進地視察・研修会開催・研修会参加・その他（ ）
年 月 日	令和6年11月12日
参 加 者 名	谷江正照 尾形みち子 長澤長右衛門
視 察（研 修）地	大分県由布市
目 的	由布市観光基本計画について
調査（研修）項目等	
概 要	由布市は大分県のほぼ中央地域に位置し、北は宇佐市や別府市など、南は竹田市、東は大分市、西は久珠郡に接しています。面積はおおよそ319.32㎢です。気候は標高の高い由布院盆地や北部では気温の比較差が大きく最低気温が氷点下になることもあり積雪にも見舞われます。農林業は米を中心に野菜、花き、果樹の栽培や畜産が盛んですが人口は減少しています。2005年10月に由布市は湯布院町、庄内町、狭間町が合併して20年が経過しているが現在人口は33,531人で商工業の狭間、豊かな自然と農業の庄内、観光と温泉の湯布院、3つの輝く個性が一つとなり、住んで良し・訪れてよしのまちづくりを掲げ多様な観光政策を実施し快適で住みよいまちを目指しているところです。 由布市観光の現状と課題について 観光関係の組織は役割分担されており商工観光課は観光政策をまちづくり観光局と連携して政策実現のために取り組むことと観光局の支援。まちづくり観光局は行政の観光政策立案に協力し、政策の実現。全体のマネジメント、マーケティング、広報、プロモーションをデータに基づいて推進すること。各観光協会旅館組合等は地域のまちづくりを推進・発展などに別れて

		います。 昨年の観光客数は404万人で前年対比121%となりそのうち外国人観光客は105万人で新型コロナウイルスの水際対策の緩和や円安の影響で過去最高となりました。しかし混雑やマナー違反での交通渋滞、下水道対策、ごみの散乱や異臭、トイレや私有地に勝手に入るなど市民生活に悪影響を及ぼしています。また、世代交代や人手不足がはじまっており、これまでのブランドイメージにとらわれず、観光がどのように貢献できるか、観光基本計画の評価・見直しなどに対し由布市全体の今後の将来像を示して頂きました。
所	感	湯布院の駅前を中心に外国人観光客で人が溢れ賑っている印象でした。公共交通機関での来訪者は8割がアジア系で特に韓国や台湾、中国他欧米で駅前通りの飲食店やお土産店舗が並び看板は日本語表記なのが気になり尋ねたところお店の評判はSNSで情報を受け来訪しているのだと知りました。観光客の増加で地域外の飲食店や土産店、宿泊施設も増加しているが市の観光協会に加盟していないことで支障が出ています。湯布院ブランドを誇示する対応に追い付いていない現状でした、本市も観光産業は重要であり上山市第7次振興計画の検証とインバウンド観光への誘客プロモーションやSNSの情報発信など市と商工会、観光物産協会との連携を密にした観光戦略を立てる必要を感じてきました。

政務活動に係る活動報告書

会 派 名	蔵王
活 動 項 目	○先進地視察・研修会開催・研修会参加・その他（ ）
年 月 日	令和6年11月13日
参 加 者 名	谷江正照 尾形みち子 長澤長右衛門
視 察（ 研 修 ） 地	佐賀県佐賀市
目 的	中心市街地活性化を目指した取り組みについて
調査（研修）項目等	わいわいコンテナ事業
概 要	佐賀市では、人口減少時代や超高齢化社会、労働人口の減少、により、中心市街地の商店街やまちなかでは空き家や廃業した店舗などが増え、空き地や駐車場が増えており、また、中心市街地には公園や遊び場は少ない等の課題があり、住む人、来る人を増やすエリア価値の向上に注力しています。しかし、新たな箱ものを作ることは財政状況からも現実的ではなく、社会実験として官民連携した空き地を活用した、わいわいコンテナプロジェクトを行い得られた成果と課題を基に、新たな空き地にわいわいコンテナ2を開設しました。 佐賀特有の水路（クリーク）沿いに、子どもたちの元気な賑わいが期待される芝生が貼られた交流スペースを敷地の中心に据え、お試し起業やカルチャー教室ができるチャレンジコンテナ、雑誌やマンガが中心の図書館コンテナ、子どもからお年寄りまで気軽に利用できる交流コンテナ、おむつ交換ができるベビーベッドが併設してあるトイレコンテナを配してあります。成果として集客数は平成24年6月の開設の年は約28,000人、翌25年は約68,000人と順調に伸びておりました。コロナ禍でも集客数の減少があったものの現在はピーク時の集客数に戻りつつあるとのことです。

		近隣への影響としてはわいわいコンテナ 2 がコミュニティ活動の場所の提供に寄与し、チャレンジコンテナからの本格出店者等も生まれ、新たな出店者等を呼び込む効果もあり、現在はカフェや店舗や工房等が 18 軒ほど、このエリア近辺に出来たとのことです。
所	感	本市においても、旧映画館跡地を活用してトレーラーハウスによるチャレンジショップ事業が始まりました。 佐賀市の事業と同様に、チャレンジショップへの人を呼び込む導線や周囲にある観光資源への回遊導線、近隣商店会とのより緊密な連携や折々のイベントへの参画を図る仕掛け、二日町プラザ内のめんごりあや図書館等への来訪者をまちに呼び込む仕掛けがますます大切になるものと考えます。 地域経済の活性化に向けて来訪者にいかに長く滞在をしていただき、消費活動に結びつける為の取り組みに官民上げて注力するべきと感じた視察でした。